

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】特開 2005-235055 (P2005-235055A)

【公開日】平成 17 年 9 月 2 日 (2005.9.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-034

【出願番号】特願 2004-45973 (P2004-45973)

【国際特許分類】

**G 0 6 F 21/24 (2006.01)**

**G 0 6 F 12/14 (2006.01)**

**G 0 6 F 12/00 (2006.01)**

**G 0 9 C 1/00 (2006.01)**

【F I】

G 0 6 F 12/14 5 6 0 D

G 0 6 F 12/14 3 2 0 A

G 0 6 F 12/14 3 2 0 B

G 0 6 F 12/14 3 2 0 D

G 0 6 F 12/14 5 1 0 F

G 0 6 F 12/14 5 4 0 A

G 0 6 F 12/00 5 3 7 H

G 0 9 C 1/00 6 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 14 日 (2007.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 2】

このような復元処理が実行されれば、データファイル F 1 , F 2 , F 3 は、再びデータ格納部 1 1 0 内に格納された状態となるので、ユーザ甲は、必要に応じて、これらのデータファイルをメモリ 1 3 0 上に展開させた上で、プログラム実行部 1 5 0 による更新処理を実行することができる。もちろん、ユーザ甲が再びログオフ手続を行えば、データファイル F 1 , F 2 , F 3 は、再び外部の記憶装置 3 0 0 へと退避させられ、データ格納部 1 1 0 内からは削除されることになる。